



News & Events



The Governor of South Australia

Her Excellency the Honourable

Frances Adamson AC

フランシス アダムソン閣下、実践女子学園をご訪問！



南オーストラリア州総督 フランシス アダムソン閣下からのメッセージ

実践女子学園中学校高等学校の湯浅校長先生、駐日オーストラリア日本韓国貿易コミッショナーのタウンゼンドさん、実践女子学園の教諭、生徒の皆様こんにちは。 本日実践女子学園に在籍する次世代リーダーである若い女子中高生の皆様とお会いできるのを大変うれしく思います。 校名には「実践」という言葉が使われていますが、これは実行に移すという意味であると聞いております。やはりこの学園に在籍する生徒の皆様には自分の地域のコミュニティをはじめ東京そして全世界をプラスに変える実践力があることが、貴校を訪問してすぐに感じました。

南オーストラリア州には親日家が多く日本との絆が深いのです。この絆を更に強くするのは「教育」だと言えます。南オーストラリア州はもとより数多くの海外留学生を歓迎してきました。教育を通して身についた知見やスキルは日に日にグローバル化が進む多様な世界を繋げるでしょう。

十数年前から続いている実践女子学園と南オーストラリア州との関係はきわめて貴重なものだと感じております。学生にグローバルな知見を植え付けるために南オーストラリア州、アデレードへ送り込むことを選んでできました貴校の皆様へ感謝の意を表したいと思います。



南オーストラリア州に、数多くの実践女子学園からの生徒を受け入れることにより、南オーストラリア州は多くを得ている点に触れたいと思います。南オーストラリア州各地の公立学校との交流を通じて我が州の生徒も違う考え方や観点に触れることができ、実践女子学園の教育理念にも長期にわたる影響を受けることでしょう。わたくし自身もキャンベラ、オーストラリアの首都に住んでいた時に日本人の留学生をホストさせていただきました。ホストファミリーとの交流を通じ、放課後も多くを学ぶ機会があると思われまます。学校のみならず我が州の一般家庭にも日本の文化、知見、価値観、そして言葉を紹介してくれました。これは地域社会をより豊かにし、新たな方法で世界について学ぶ機会を与えます。

南オーストラリア州では若い学生が次世代のグローバル市民になれるよう異文化理解や国際的な考え方を育む教育の機会を与えます。異文化と触れ合うことで我々の共通点と相違点に気付かされるだけでなく絆や相互尊重を育むことでしょう。

ここ数年は困難な時期でしたが今年の初め頃に我が州との交流事業（短期留学）が再開されたことが大変喜ばしいことです。（実践女子学園は）すでに2023年の短期留学に向け準備が始まっているという風に聞いております。来年半ばに南オーストラリア州に迎え入れることができると聞いています。我が州で素晴らしい体験に関するお土産話を聞くのを心待ちにしております。そしてアデレードでお会いできできれば嬉しいです。結びに本日実践女子学園にご招待いただき感謝の意を表したいと思います。そして熱狂的な歓迎をしてくださいましたこと、そして素晴らしい国歌演奏をしていただきましたことに対して感謝したいと思います。また貴校の教育理念に触れることができるチャンスをくださりまして誠にありがとうございます。

Q

What can we do now to make the relationship between Australia and Japan even better in the future?

「オーストラリアと日本の関係を今後より良いものにするために、今、私たちは何ができますか？」



素晴らしい質問です。どうもありがとうございます。

もう既に皆さんが日豪関係を強化するために多くのことをやっているのではないかと思います。何をもっとすればいいのかというと、「連絡を取り合うこと」、そして「お互いに聞き合うこと」、そして「お互いの相違点を尊重すること」が重要になってくるのではないかと思います。そして何よりも他の国をじっくり観ていくことが大切だと思っています。

すでにこの学校ではオーストラリアへ留学する経験を手に取った生徒もいるかと思いますが、ぜひそれは一度限りのことではなく、何度もオーストラリアに足を運んでいただければと思います。その体験を通じて自分の世界観が変わればいいなと思っています。要するに引き続き今やっていることを

続けていただきたいです。私は来日して東京で様々なミーティングに参加して、日豪関係の深化に関する意見交換をさせていただきました。是非とも私の世代だけではなく、次の世代である皆様にもバトンタッチをして日豪関係を強化することに努めてほしいと思います。

Q

Do you have any advice for achieving success?

「成功を収めるためのアドバイスがあれば教えてください」

「何をすれば成功を収めることができるか」という質問かと思いますが、いくつかアドバイスを提供したいと思います。まず「新たな挑戦にオープンな姿勢であり続けること」が大切です。そして「粘り強さ」が必要です。

そして「機会がやってくることを受け入れる体制を保つこと」が大切だと思っています。場合によっては「運」となっている部分があるのですが、先ほど申し上げた三点を常に心がけさえすれば成功する確率が高くなるのではないかと思います。一つだけ付け加えたいのですが、仕事を決める時に自分が好きなことをやればいい、そして自分が得意分野の仕事をすればいいと思っています。勿論仕事と家庭を両立することが難しい部分ですが、その二点を常に頭に留めて行動していただければと思っています。常に粘り強く、そしてはっきりとした目標を持って行動すれば、成功を納める確率が高くなるのではないかと思います。このアドバイスは役に立つかわからないですが、この在学生の皆様が人生において成功しますようお祈り申し上げます。



Q

As a mother, do you favor sending your children to study abroad? Why or why not?

「母親として子供を外国に留学させることについて賛成ですか？」

私自身、17歳の時に、高校を卒業した際にオランダで一年間留学をさせていただきました。ということで私は留学生として自分の実家から離れてホームシックになることを実体験として経験しておりますし、そしてそのチャレンジ、そしてその課題そして他の文化に触れあう喜びを、身をもって経験したことがあります。そして外国語を習う経験を手に取る喜びを経験したことがあります。

私は南オーストラリア州総督に着く前、数十年の間外交官のキャリアを構築して参りました。その一環として自分の夫と四人の子供を連れていくつかの国で海外赴任をした経験がある中、もちろん子供が海外の文化と触れ合う機会がありました。しかしその期間を通じて実践女子学園のプログラムと同様な、海外留学プログラムがありまして、自分の子供が短期留学を経験しました。私は留学に大賛成する立場にありまして、自分の子供がそういう留学経験が経験できたことは非常に役に立つ経験となったと、今となってそうっております。

Q

What is the most surprising or valuable thing that you have experienced until now?

「今までに体験した最も驚いたことや素晴らしい体験は何ですか？」

すぐに答えることはとても難しい質問ですけれども、やはり私にとって最も素晴らしい体験だったのが「異文化と触れ合うキャリアを構築できたこと」ではないかと思っております。

さまざまな人、若い人、歳を召された方と交流できたこと、そして新たな発見ができたことでつながりを持つことといった体験ができたのは私の人生においては宝物といえましょう。こういった体験は外交官を通じて得られましたけれども、今は南オーストラリア州の総督としても同じような体験ができております。

このようなキャリアを通じてびっくりする毎日でしたが、皆さまが同じような体験がオーストラリアの阿德レードにてできることを祈っております。それを通じて自分が得意なことそして自分が好きなことを発見してくれればと思っております。その得意分野、好きな分野は美術であろうと科学であろうとまた宇宙分野、技術分野、音楽、スポーツ、幅広い分野がありますが、自分が大好きな分野をぜひ、この交流を通じて発見していただければと思っております。

湯浅校長が、校祖下田歌子先生がまだ本学園を開学する前の欧州視察の際に英国ビクトリア女王に謁見されたことなどの、本学園設立の経緯についてご説明された。





日本文化実習室では茶道部のお点前のデモンストレーションをご覧になり、実際にお茶を召し上がった。



体育館で AFL Japan の榊コーチのご指導でオーストラリアンフットボール体験。閣下も生徒とハンドボールパスの練習をなさいました。

南オーストラリア州へ留学した生徒のスピーチ

First of all, thank you, Your Excellency, for coming to visit our school from Australia. All of the students here are very glad to meet you. 14 students from our school went abroad to Adelaide. All of us had very good experiences and brought back memories and learned a lot of things. One experience while we were there that we can't have in Japan is that we got to have conversations with people from many countries around the world in English. Another experience that many students had was being surrounded by an abundance of nature. We get to spend our three months in a beautiful environment, and we will all cherish that. People in Australia were very open and helpful. Even though we were not able to speak English fluently, teachers and

students seemed to be happy to help us, and we were very satisfied about it. With our homestay families, we were able to enjoy everyday Australian culture; this is how I noticed something very interesting. Although I am not so interested in sports myself, while in Adelaide, I saw my host father watching AFL games on TV every weekend. It reminded me of my own father at home, watching sports games on TV. My homestay father watching AFL games on TV felt familiar to me. It felt like home. Sports have that ability to bring people together. I wondered if my own father was watching soccer on TV as my host father watched an AFL game. In that moment, Japan seemed so close to Australia, and I learned that similarities between cultures are so much more profound than the differences. What I learned in Adelaide that can be used in the future is to understand other countries' cultures. Living in Japan, we don't have time to touch on cultures outside our island. To have connections with people around the world, to work worldwide, and to help people or innovate the world. I hope by understanding cultures around the world now, we can in some way provide strength to our global society in the future.



まず最初に、閣下、オーストラリアから本校を訪問していただき、ありがとうございます。ここにいる生徒たちは皆、あなたにお会いできてとても嬉しく思っています。私たちの学校からは14名の生徒がアデレードに留学しました。全員がとても良い経験をし、思い出を持ち帰り、多くのことを学びました。現地では、日本ではできない体験として、世界中の様々な国の人と英語で会話することができました。また、多くの生徒が経験したことは、豊かな自然に囲まれたことです。3ヶ月間、美しい環境の中で過ごすことができ、皆それを大切にしています。オーストラリアの人たちはとてもオープンで親切でした。私たちが英語を流暢に話せなくても、先生や生徒が嬉しそうに助けてくれて、とても満足しています。ホームステイ先では、オーストラリアの日常的な文化に触れることができ、とても興味深いことに気づかされました。私はスポーツにあまり興味がないのですが、アデレードでは毎週末、ホストファーザーがテレビでAFLの試合を観戦しているのを見かけました。その姿は、実家の父がテレビでスポーツ観戦をしている姿を彷彿とさせるものでした。ホームステイ先のお父さんがAFLの試合をテレビで見ている姿は、私にとって身近なものに感じられました。自宅のように感じました。スポーツには、人と人を結びつける力がある。ホストファミリーのお父さんがAFLの試合を見ているとき、自分のお父さんはテレビでサッカーを見ているのだろうかと思いました。その瞬間、日本とオーストラリアはとても近く感じられ、文化の違いよりも、似ていることの方がはるかに深いということを学びました。アデレードで学んだことで、今後活かせることは、他国の文化を理解することです。日本に住んでいると、島国ということもあり、国外の文化に触れる時間がありません。世界中の人とつながりを持ち、ワールドワイドに仕事をし、人の役に立ち、世界を革新していくこと。今、世界の文化を理解することで、将来、何らかの形でグローバル社会に力を与えることができればと思います。